

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 703

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	岩嵜 志保
事業名	家庭教育支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	家庭教育支援事業			政策体系	111
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 1.社会		

## 1. 事業の概要

親が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育へ参画を促進する。市内の各幼・小・中学校において家庭教育学級を実施する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

核家族化が進行する中で、両親の共働きなどが増え、親子関係を築く必要が高まっている。また、地域のコミュニティが希薄になり地域教育力の低下が課題となっており、育児に対する不安を持つ親が増加している。そのような中、講座や懇談会を通して家庭での教育力を向上させる。

### ② 事業を実施する必要性

児童の健全育成、子育て支援につながり、地域社会全体で取り組むべき事業である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	478	375	195	133	163	163	163
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	472	283	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6	92	195	133	163	163
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.16	0.23			
人件費	千円	—	—	841	1,264			
事業費総額	千円	—	—	1,036	1,397			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

家庭教育学級講師への謝礼	89,000円（報償費）
事務用品等の消耗品	44,491円（需用費）

## 5. 事業結果の概要

・13校（園）で18講座を開催することができた。  
 ・講座内容は、食育、人権、ブックトーク、健康、親子のふれあい、性教育、スポーツなど子どもの発達段階に応じ、多岐にわたるテーマで行うことができた。  
 ・また市予算を伴わない事業（府PTA主催事業）である「親のための応援塾」について、モデル校として4校（川辺小・八木小・殿田小・平屋小）で実施できた。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1)家庭教育学級		
園部幼稚園 組別懇談会	平成21年6月2日、5日	
知井小学校 世代間交流(昔からの遊び)	平成21年6月9日	
殿田小学校 「ブックトーク」講師 南丹市中央図書館長 大西敏之さん	平成21年6月18日	
八木中学校 「子育て座談会」講師 スクールカウンセラー 山北深香さん	平成21年6月26日	
園部幼稚園 食育講演会「家庭における食育」講師 食育サロン「旬」主宰 佐井かよ子さん	平成21年7月3日	
園部中学校 性教育講演会 講師 きむら診療所 助産師 木村和子さん	平成21年7月9日	
園部第二小学校 「子どもたちの健やかな成長を願って」講師 学校医 高屋和志さん	平成21年7月10日	
八木中央幼児学園 食育講演会「家庭における食育」講師 食育サロン「旬」主宰 佐井かよ子さん	平成21年10月7日	
園部幼稚園 リラクゼーション講座(スポーツマッサージとPNFストレッチ) 講師 美山粹仙庵 主宰 山田文男さん	平成21年10月20日	
大野小学校 「子どもの食があぶない、親としてできること」講師 美山学校給食調理場 学校栄養士 植田理恵さん	平成21年10月26日	
平屋小学校 アルミ缶回収・親子スポーツ大会	平成21年11月14日	
園部幼稚園 人権講演会「地域と園で支える豊かな心・育ち」講師 NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長 生重幸恵さん	平成21年11月15日	
平屋小学校 親子料理教室	平成21年11月28日	
美山中学校 けんこう教室「楽しくからだを動かそう！」講師 日本体育学会学会員 廣田剛史さん	平成21年12月12日	
園部幼稚園 親子ふれあい遊び「みんなで遊ぼう！集団あそび」	平成22年1月20日、21日、22日	
平屋小学校 ひらや文化のつどい「小学校・地域の文化交流発表会」 出演 小学校児童、地域サークル会員	平成22年1月30日	
新庄小学校 半日入学就学前指導 指導者 PTA会員	平成22年2月12日	
八木中央幼児学園 子育て講演会「温かさと優しさの子育て」講師 南丹市子育て支援課 土佐順貞さん	平成22年2月26日	

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

- ・各学校での特性や地域性を活かした活発な取り組みを推進することができた。
- ・各学校において実情にあった講座等の内容を企画し、子どもたちの健全な育成のため、親の不安軽減と家庭の教育力の向上につなげることができた。
- ・今後は多くの保護者の参加を促すため、講座の周知と講座内容の充実を図る必要がある。
- ・22年度からは府PTA事業の「親のための応援塾」が市内全ての小学校において実施されることから、学校、PTA、地域社会が連携し、家庭教育の支援を行っていくことが必要とされる。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
各学校での活発な取り組みを推進
- ②当該事業のアピール事項  
各学校において実情にあった講座等の内容を企画し、子どもたちの健全な育成のため、親の不安軽減と家庭の教育力の向上につなげることができた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
多くの保護者の参加を促すため、講座の周知と講座内容の充実を図る。